

プログラム名

東京慈恵会医科大学産婦人科専門研修プログラム

募集定員

20名

研修期間

3年

プログラムの特徴

東京慈恵会医科大学専門研修コースでは東京慈恵会医科大学医学部附属病院産婦人科を基幹施設とし、連携指導施設とともに医療圏を形成して専攻医の指導にあたる。これは専門医養成のみならず、地域の安定した医療体制をも実現するものである。さらに、指導医の一部も施設を移る循環型の医師キャリア形成システムとすることで、地域医療圏全体での医療レベルの向上と均一化を図ることができ、これがまた、専攻医に対する高度かつ安定した研修システムを提供することにつながる。

東京慈恵会医科大学専門研修コースの具体例

- ・産婦人科専門医養成コース; 東京慈恵会医科大学附属病院、葛飾医療センター、第三病院、柏病院および国立成育医療センターに於いて最初の1年間、専攻医指導施設において2年間の合計3年間で専門医取得を目指すプログラムである。3年目は周産期医療、婦人科腫瘍重医療、生殖医療など将来のサブスペシャリティを意識した指導を受けられる。
- ・産婦人科専門医大学院研修コース; 東京慈恵会医科大学産婦人科研修プログラムで研修をしながら、大学院にも在籍し、同時に医学博士号取得を目指した研修も可能である。
- ・女性医師支援研修コース; 女性医師で結婚しているために研修に十分時間がとれない場合は、女性医師の子育て支援のため日勤帯を基本とした研修プログラムを個々の女性医師専攻医の希望に合わせて作成する。研修期間は3年を基本とするが、研修進捗状況に合わせて延長も考慮して変更することが可能である。

- ・復帰支援研修コース: 妊娠・出産などで一時的に職場を離れた場合の復帰を支援するため、女性医師支援研修コースと同様に日勤帯を基本とした研修プログラムを個々の女性医師専攻医の希望に合わせて作成する。研修期間は3年を基本とするが、研修進捗状況に合わせて延長も考慮して変更することが可能である。

サブスペシャリティの取得に向けたプログラムの構築

東京慈恵会医科大学産婦人科研修プログラムは専門医取得後に以下の専門医・認定医取得へつながるようなものとする。

- ・日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- ・日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- ・日本生殖医学会 生殖医療専門医
- ・日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- ・日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医

専門医取得後には、「サブスペシャリティ産婦人科医養成プログラム」として、産婦人科4領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動も提示する。

初期研修プログラム

東京慈恵会医科大学産婦人科研修プログラム管理委員会は、臨床研修センターと協力し、大学卒業後2年以内の初期研修医の希望に応じて、将来産婦人科を目指すための初期研修プログラム作成にもかかわる。現在の初期研修プログラムでは、内科系、外科系、麻酔科、救急医療などの基礎研修に交えて産婦人科の初期研修を行い、産婦人科専門研修への準備を行う。